

登録コード	SGQ22900	開講年度	2026		
授業題目	中等基礎教育実習			担当教員	田村 徳至
英文授業名	Practice in Teaching			副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期
講義室		授業形態	実習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、キャリア				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	実習校でこれまでに学んだ内容を踏まえて、教科学習を中心に実践的に教育活動を展開する。				
(5)授業のキーワード	教育実習				
(6)授業計画	実施時期：5月～11月 学生各自で実習校と協議して決定すること。 全授業時間…120時間以上（実習期間3～4週間） ・授業参観 ・授業担当（研究授業を含む） ・放課後の研究指導 ・学級経営の参加				
(7)成績評価の方法	教育実習受入校での評価と、実習録等のデータから総合的に判断する。				
(8)成績評価の基準	教育実習の「実習録」，「評価書」，「出勤簿」に基づいて総合的に評価する。 授業の達成目標の水準にあるか否かの基準は次の通りです。 卓越している（秀，90～100点）：上記3点全ての内容が優れていて，教員としての実践力を備えているレベルにある かなり上にある（優，80～89点） やや上にある（良，70～79点） 水準にある（可，60～69点） 水準よりやや下にある（不可，50～59点） 水準にない（不可，49点以下）				
(9)事前事後学習の内容	教育実習受入校の担当教員の指示に従うこと。 関連の授業として「教育実習事前・事後指導」が設定されている。こちらも必ず履修すること。				
(10)履修上の注意	必要があれば指示する。				
(11)質問、相談への対応	質問・相談は，随時，下記で受け付ける。 tamura@shinshu-u.ac.jp				
【教科書】	藤井善章／小山茂喜 編著『教育実習・介護等体験 安心ハンドブック』，学事出版，2026，2,200円・旧版のものでも可				
【参考書】	適宜紹介する。				